



エブルト
ableto

障がいのある学生の強みを活かし
戦力化する対話型トレーニングプログラム



企業のご担当者さまへ



話し合い、わかりあい、 共に“できる”をつくる。

どうして伝わらないんだろう…、そう思うことがあるかもしれません。

時に障がいのある方とのコミュニケーションでは相手がこちらが思いもしなかった理由を持っていたり
それぞれ全く違う価値観で考えていたりします。

そのことを本人も理解できておらず、企業側もわからないから誤解してしまう。

そのわかりあえていない状況が、働く環境をつくる上で最大の課題となっています。

ただ、対話を重ねることでお互いを理解し、環境を改善することができます。

私たちはそれを実現する創造的な対話メソッドを構築しました。

障がいのある個人と企業が話し合い、お互いをわかりあうことで

個人が働きがいを持って“できる”やり方と、企業のために活躍”できる”環境を、共に作り上げていく。

本サービスは個人と企業で共に“できる”をつくるサービスです。

障がい者雇用をお考えのご担当者さま こんなお悩みはありませんか？

活かし方が分からない
ため、戦力化すること
ができない…

コミュニケーションが
難しくて負荷がかかって
しまう…

専門家ではないので、
ノウハウを持っていない…



対話メソッドで“できる”をつくる



“できる”を知ること
適材適所を図り、
戦力として活かします

対話を重ねることで、学生のこれまでの
経験や背景も含めて、その人の強み
や特性を知り、その学生の能力を活か
す役割を見つけることができます。



適切なコミュニケーション
が実践できるように
なります

多くの企業研究を基に構築された
対話メソッドを用いることで、
お互いを理解しあえるコミュニケー
ションができるようになります。



豊富な知見のメソッド、
専門家があなたを
サポートします

ノウハウがなくても安心。豊富な
知見に基づくメソッドと専門家の
サポートで、受け入れから定着
まで細やかにご支援します。

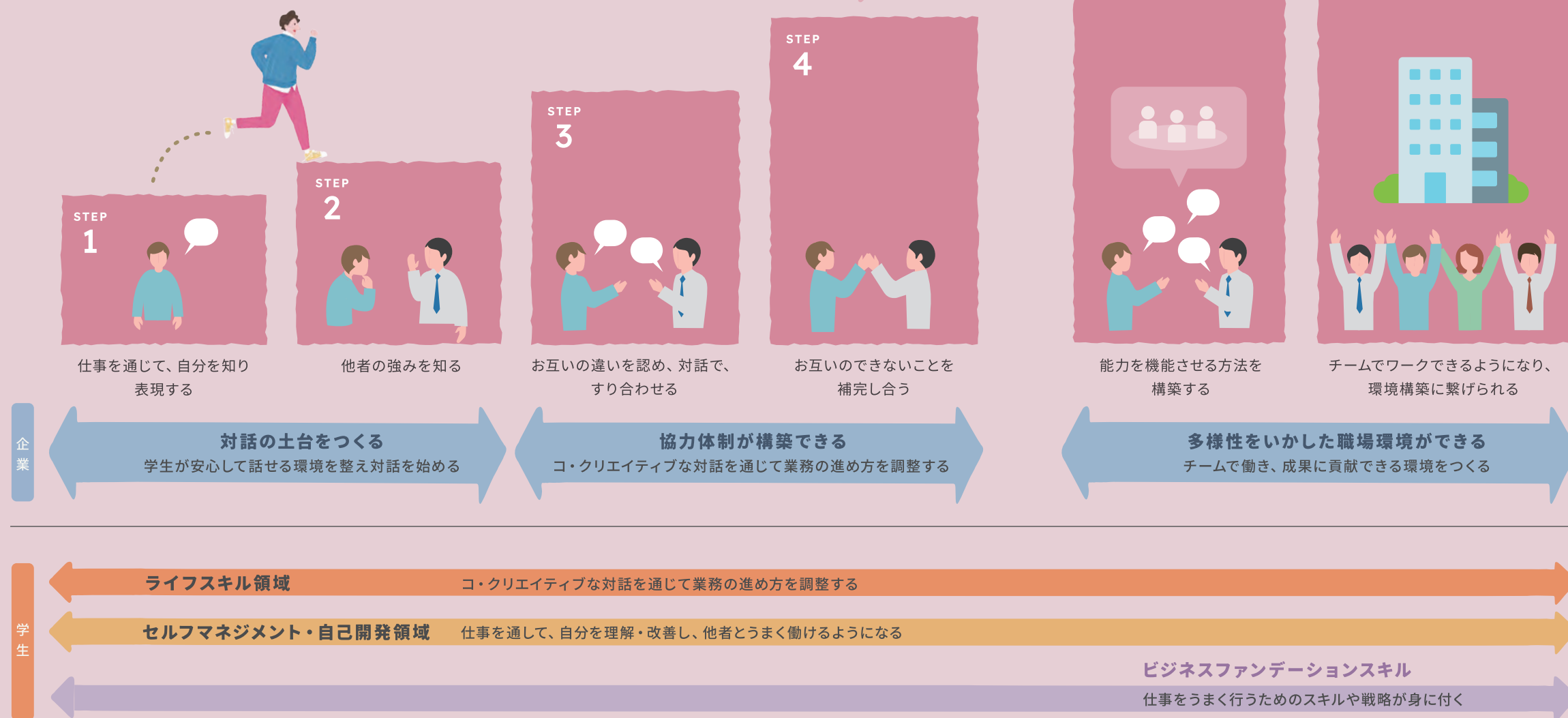


本サービスでは皆さまの悩みに寄り添い、価値ある障がい者雇用をサポートします。

共に“できる”をつくるプログラムとは？

仕事を通じたコア・カリキュラムによって、
特性を理解し、本来の能力を発揮させられるようになる

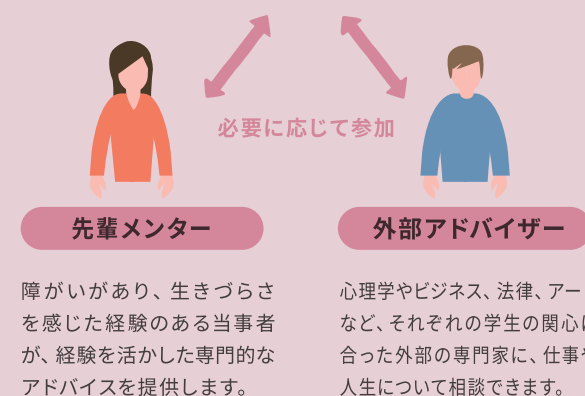
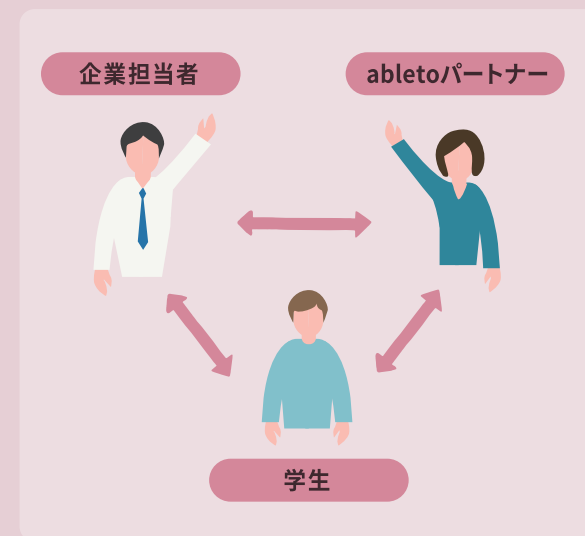
仕事を通じて自分や相手を理解し、対話を重ねながらお互いの強みを活かせるようになります。
このプロセスを通じて、社会で役立つ力や働くための基礎スキルが自然と身についていきます。



専門家によるサポート

豊富な知見を持った専門家が企業と学生の双方をご支援します。また、学生が気軽に相談できる先輩メンター・アドバイザーがサポートを行います。

abletoパートナーは、企業担当者の考えや職場のニーズを理解し、一緒に理想の職場環境をつくるパートナーになります。



プログラムによる効果

対話を重ねることで相互理解を深め、違いを活かし合える職場環境に。
障がいの有無によらず、一人ひとりの強みを活かす組織づくりにつなげます。

対話を通じて 相互理解を深める

学生・企業の双方が分からなさや矛盾を受け止めながら、お互いの考えや価値観を知り、認識をすり合わせることで、共に歩む関係を築くことができます。

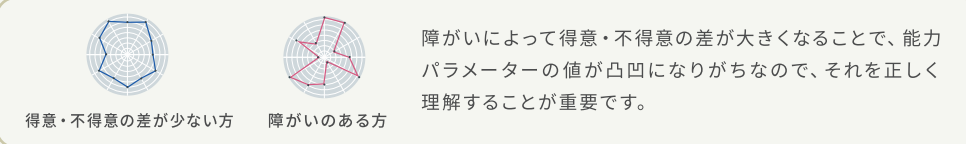
違いを活かし合い、 力を発揮できる環境へ

学生それぞれの特性や強みを理解し、その活かし方を知ること、一人ひとりが能力を発揮しながら働ける職場環境をつくることができます。

企業と学生が自然に 出会う

学生は早期に社会での自分の活かし方を体験し、企業は雇用前に体制・仕組みを整えることで、採用後のミスマッチなどを予防します。

対話の重要性



特性が分からないため強みを 活かしていない

得意・不得意の差が大きいため、特性を知らないままで仕事をしてもらうとうまくいかないことがあります。

対話により特性や強みを お互いに理解する

仕事の体験とそれを振り返る対話によって、強みや自己の活かし方に気づき、成長目標や仕事の成果を共有することができます。

本人の特性に合った業務で 能力を発揮できる

得意領域を活かせる仕事を担当してもらうことで能力を発揮し、チームに貢献できるようになります。

対話による成功事例

対話を通じて協力し合うことで、個々の強みが活かされ、職場に一体感が生まれます。実際の企業の取り組みを通じて、対話がチームづくりにどのように貢献するのかをご紹介します。

事例1 対話からはじまるチームづくり

阪和ビジネスパートナーズ株式会社 雇用推進部長 辻 敏彦 さま

当社は、一部でテレワークによる障がい者雇用を行っており、社員同士のコミュニケーションを大切にしています。受講したプログラムでは、オフラインで初めて会ったグループメンバーと対話をしながら、コップの水をメンバーと息を合わせて運んだり、バトンを渡したりといった同時作業を行いました。参加して気づいたことは、ただの共同作業は、それを「上手くやるために、早くやるためにどうすれば良いか」という目的が定まったとき、メンバー同士の「対話」が必然的に増えるというものでした。その日に会ったただのグループが「チーム」になっていくプロセス自体を実感し、みんなが一つの気持ちになるというフラットな感覚も持つことができました。この感覚を社内を広げていくのは、今でも難しくチャレンジではありますが、仕事でチームをつくるときに大切なものを学ぶことができたと思っています。



事例2 障がい者雇用をなくてはならない雇用に

小田急バス株式会社 人事部課長 秋山 浩史 さま

法定雇用率の除外率設定業種である当社は、除外率制度の変更に伴い、積極的に障がい者雇用を行う必要が生じました。今まで、障がい者雇用になじみが薄かった営業所に対して、ディーセントワーク・ラボとともにその必要性と彼らの「働き」を丁寧な「対話」により説明して、実際に雇用した後にも、障がい者の「困り」や営業所員の「困り」を障がいスタッフサポーターの「対話」により解消しながら進めています。今では営業所で、障がいスタッフはなくてはならない存在となっています。

STEP1：学生と企業の交流

対話型サロン



障がいがある、もしくは社会生活の中で何らかの困難さを自認している学生等が、社会への一歩を安心して踏み出す準備ができる登録型のコミュニティです。企業のご担当者さまには、学生向けの合同説明会や仕事体験にご参画いただきます。サロンでは、企業ご担当者さま向けのミニセミナー（対話、チームづくり、合理的配慮、ケーススタディなど）も開催し、障がい者雇用の具体的なノウハウを提供します。就活前の学生と早期の接点を持ちながら、障がい者雇用の仕組み構築を進めることができます。

サロンでの適合性を踏まえた上で、本採用までを視野に入れた3ステップのプログラムに入っていきます。

STEP2：初回プログラム			STEP3：中長期	STEP4：本採用	
プログラムの流れ	プログラム検討/準備	アルバイト型インターンシップ 実施期間：3ヶ月×数回（6ヶ月～1年以上）		インターン	採用面接から本採用へ
	貴社向けプログラムの全体設計と概要の具体化を進める	学生と貴社が専門家の支援を受けながら、就業・雇用に向けた実践的トレーニングを行う	フォローアップ 必要に応じてプログラムを経験した学生へのフォローを行う	双方合意のもと、 中長期インターン （ほぼフルタイム）へ移行	インターン参加学生を 採用面接へつなげる
	・座学とOJTの設計 ・プログラム受け入れ体制の構築	・管理者向け研修受講 ・OJTと体制強化	・適材学生の次ステップ案内 ・振り返りと今後の検討		
	半年～1年程度の長期にわたるアルバイト雇用※				
企業	・実施メニューの提案	・管理者向け研修 ・学生向けトレーニング ・専門家による学生サポート面談	・フォローアップ面談 ・就活準備アドバイス		
ableto					

※1年以上の長期にわたってアルバイトを継続することも可能

よくある質問

Q どのようなメリットがありますか？

A 障がいのある学生の「働く機会の提供」と「人材育成」といった社会的意義がありながら、障がい者採用時のミスマッチを防ぐことが可能なプログラムです。早期に学生との接点をつくったり管理職のスキル向上につながったりします。

Q 参加する学生はどのような学生ですか？

A 障がい等があり（障害者手帳取得者もしくは取得予定）、働くことに不安があるが、トレーニングを通して就職を目指したいと考えている学生です。大学・大学院・高等専門学校等に在籍中の学生を対象としています。

Q アルバイト型インターンシップの導入にどのくらいの期間がかかりますか？

A 貴社にて業務・勤務地の決定（リモート含む）、OJT担当の選定、選考、障がいに対する合理的配慮の提供などをご依頼しています。雇用が初めての場合は、2～6か月程度貴社のご状況に応じて導入サポートをいたします。

Q インターン終了後も、マッチする方にアルバイトとして継続してもらうことは可能ですか？

A 本人との合意に基づいて、雇用契約を更新することが可能です。プログラム終了後の貴社内でのサポート体制の構築をご支援します。



その他の対話事例のお話や、対話型サロンの情報など、abletoについての最新情報は ableto 公式Facebookをご覧ください。





NPO法人ディーセントワーク・ラボ

〒145-0062

東京都大田区北千束3-28-9 VANフラッツ401

TEL: 03-6451-7345 FAX: 03-6451-7346

<https://decentwork-lab.org/>

株式会社プーカー

〒145-0062

東京都大田区北千束3-28-9 VANフラッツ401

TEL: 03-6451-7347

<https://www.puuker.com/>

NPO法人ディーセントワーク・ラボについて

すべての人の「ディーセント・ワーク」「ディーセント・ロール」の実現というミッションのもと、NPO法人ディーセントワーク・ラボと株式会社プーカーの2つの組織が協力して活動しています。NPO法人ディーセントワーク・ラボは社会のニーズに沿って先端的なプロジェクト・実践研究を展開し、株式会社プーカーは実践研究から得られた知見を事業化し、社会に実装する役割を担っています。